

# のんちゃんのおぶるひし

①

作・画 山田アツミ

作 山田 優葵

画 山田 大心と母

色塗り 山田 父と母

脚本 山田 母

のんちゃん

「明日は 楽しい楽しい 遠足よ。お弁当をもって レンジャー！」

のんちゃんは 小学1年生。

学校に入って 初めての 遠足に フクフクしています。

のんちゃん

「ね、おおかさん。お弁当のおかずは、なあ〜」

母

「のんちゃんが、大好きな、昆布おにぎりでしょ。ポテトとから揚げ、

アスパラのスパークリング。それにタピオカワインナーよ。」

のんちゃん

「やったあ。大好きなものはっからだ。」

母

「おじいちゃん、ほじねん草入りの卵焼きと、チヂミ、トマト、トロロ、ローもいねるわよ。」

のんちゃん

「ネー、〜、あだしのきんぴらなかも、入れぬの〜」

母

「きらいなもの、のんちゃんの体には、とても大切なのよ。少しだけ入れるから、

かごはひい食べな。」

のんちゃん

「お母さん、はっしよ…。体に、大切で、言ひも、きんぴらなものは、食べられないよ。」

おれなまものおはっからのお弁当が食べた〜」

のんちゃん、は、なただか気持ちがあつたので、外に遊びに行くと決まりました。

のんちゃん、お父さんの部屋で、おじいちゃん、外へ出るため

、ハイパーターゲティング

のんちゃん

「ん？ 何いわ？」

そこには、家にある 電子レンジと 素晴らしい エレベーターがありました。

のんちゃんが 中を のぞくと、  
ドアがパタン、

ひび ————— ん

ルーシー

のんちゃん

「わぁ、おもしろい。じいじはどこののかしら？」

遠くには、海の見える公園があり、動物たちが集まっています。

のんちゃんはそばへ行ってみると、「しまった。」

のんちゃん

「鳥さん、みんな何をしよう？」

鳥

今日は年に1度の動物遠足の日だよ。さあ、君もお弁当を持ってきたでしょ。

はい、はい、もうお腹が「へっへっ」だよ。向こうへ行ってみよう。

のんちゃん

「動物遠足なんて楽しんで。でも、遠足は明日だったし、お弁当はもういらないわ。

困ったな。そっか！ だが「分けてもあげよう。」

のんちゃん、はい、はい、お話を聞かれました。



のんちゃん

ライオンさん こんにちは。 あたし お弁当がないの。 少し 分けてくれる？」

ライオン

「ああ じゃあ。 ぽんのお弁当は ガアオーウ 肉たっぷり弁当だー」  
のんちゃん

「あたし、お肉 大好きよ。 からあげ？ それとも ハンバーグ？」

ライオン

「じゃあ、あ、ぽんのお弁当は 生肉 たっぴり 弁当ね。」

のんちゃん

「じゃあ、あ、じゃあ。」

ライオン

「じゃあ、あ、じゃあ。」

のんちゃん

「うん…だけじゃあ…あたし…」

焼ごぼうさん お肉は 食べられないの。 やっほりじゃあ。 ありがとう。」

のんちゃん

「じゃあ、あ、ライオンさんのお弁当。 でも、じゃあ、じゃあ お肉はからいね

あまなごのかつら。」

のんちゃんが歩いていって、お花畑でミニバチがいました。





海から 大きくて 優しい声が 聞こえました。  
のんちゃんは、答えたくても 声が 出ません。  
そこには大きなクジラがいました。

クジラ

「わかったぞ。 お弁当を 忘れちゃったんだね。 大丈夫 大丈夫。  
ぼくのを 分けてあげなよ。 ぼひら…。」

ぼひらーん

のんちゃん

「しめたーい。」

クジラ

「じゅんじゅん。 優しくやったつもり なんだけど。  
ぼへのお弁当は、 オキアミとエビ、 なんだよ。」

1日に ソウ 1頭分と同じ8800キロも 食べるんだ。」

クジラは 大きな口をあけて 海の水を飲むと、 エビだけを お腹に入れて、  
いらぬ水を ザバーっと出しました。

のんちゃん

「あたい、海の水を そんなにたくさん飲めないわ。」



のんちゃんは泣き出してしまいました。

のんちゃん

「あたし、色々な おかずが 入った、お母さんのお弁当が 食べたーい。」

のんちゃんが大きな声で言った時、

のんちゃん

「あれ、あんなにいい匂い、お母さんがあー」

お願ひー。お母さん、お母さん、連れて行ってほしい。」

ドアがパタン

音がひびく——ん

「……」

のんちゃん

「んねー。家に帰っていったわ。」

のんちゃんは、元気良く 玄関のドアを 開けました。

のんちゃん

「お母さん、ただいまー！」

母

「お帰り、のんちゃん。」

明日の天気予報は、ピカピカの 晴れだって テレビで 言っていたわよ。」

のんちゃん

「わぁ うれしい。あたし、お母さんのお弁当 大好きよ。」

母

「あー、ぶっしたの？」

のんちゃんは、お母さんがいる キッチンを 見渡しながら、歌うように言いました。

のんちゃん

「じゃ、パン、おそば、うどん、魚、お肉、たまごに、納豆、ネーバナバ。じゃがいも、玉ねぎ、にんじん。アイス、ラムネ、ケーキにおせんべい。たへん、たへん、たへん。」

その声はしわしわにはじけました。

のんちゃんは、

ライオンさんの生肉弁当よりも、

「アラさんの葉っぱ弁当よりも、

ミツバチさんのハチミツ弁当よりも、

シロナガスクジラさんのオキアミ弁当よりも、

のんちゃんのために、お母さんがつくる

栄養たっぷりの、お弁当が、一番いいな、と思いました。

のんちゃんは、大きな声で言いました。

のんちゃん

「お母さん、明日の、お弁当、よろしくね。

残りを全部、食べたいからね。」

(お母さん)